エクゼクティブサマリー：日本

2025 年のデータプライバシーは？サイバー保護についての消費者の考え方に関する調査結果

インターネットが主流となってから 30 年以上が経過し、多くのことが変わりました。消費者は、単一のデスクトップコンピューターやノートパソコンを使用してインターネットを閲覧することから、複数のデバイスを使用して、さまざまな種類のショッピング、バンキング、チャット、メディア共有を行うようになりました。

デジタルフットプリントと収集されるデータ量の拡大により、オンライン時に消費者を脅かすサイバー脅威も増加しています。毎年 1 月 28 日はデータプライバシーデーとして、データ保護の必要性が高まっていることを強く意識させる重要な日です。重要な情報を適切に保護しないと、身代金を要求されるといった深刻な財務的影響や個人の生活を脅かすような損害を引き起こす可能性があります。

この危険な時代において、消費者はサイバー脅威に対してどのように感じているのでしょうか。消費者はデータ保護について何を認識し、情報を安全に保つために何をしているのでしょうか？ Acronis は、データ保護に対する一般の人々の認識、およびサイバーセキュリティによって個人情報を守るためにどのような手段を講じているのかを調査するために、日本を含む世界の消費者にアンケートを実施しました。このレポートでは、調査結果とトレンドの重要ポイントが詳細に説明されています。

消費者のサイバーセキュリティの実践は進歩してきましたが、いまだに改善の余地があります

調査によれば、多くの消費者がセキュリティ脅威について理解を深めています。また多くの消費者が、データ保護のために何らかの対策を講じています。しかし、データプライバシーに関する実際の取り組みには、大きなギャップがあることが明らかになりました。また、消費者のサイバーセキュリティの実践にはいくつかの問題があります。

調査結果によると、消費者はサイバーセキュリティについて懸念を抱いているものの、必ずしも行動には反映されていないようです。

Copyright © 2002-2025 Acronis International GmbH.

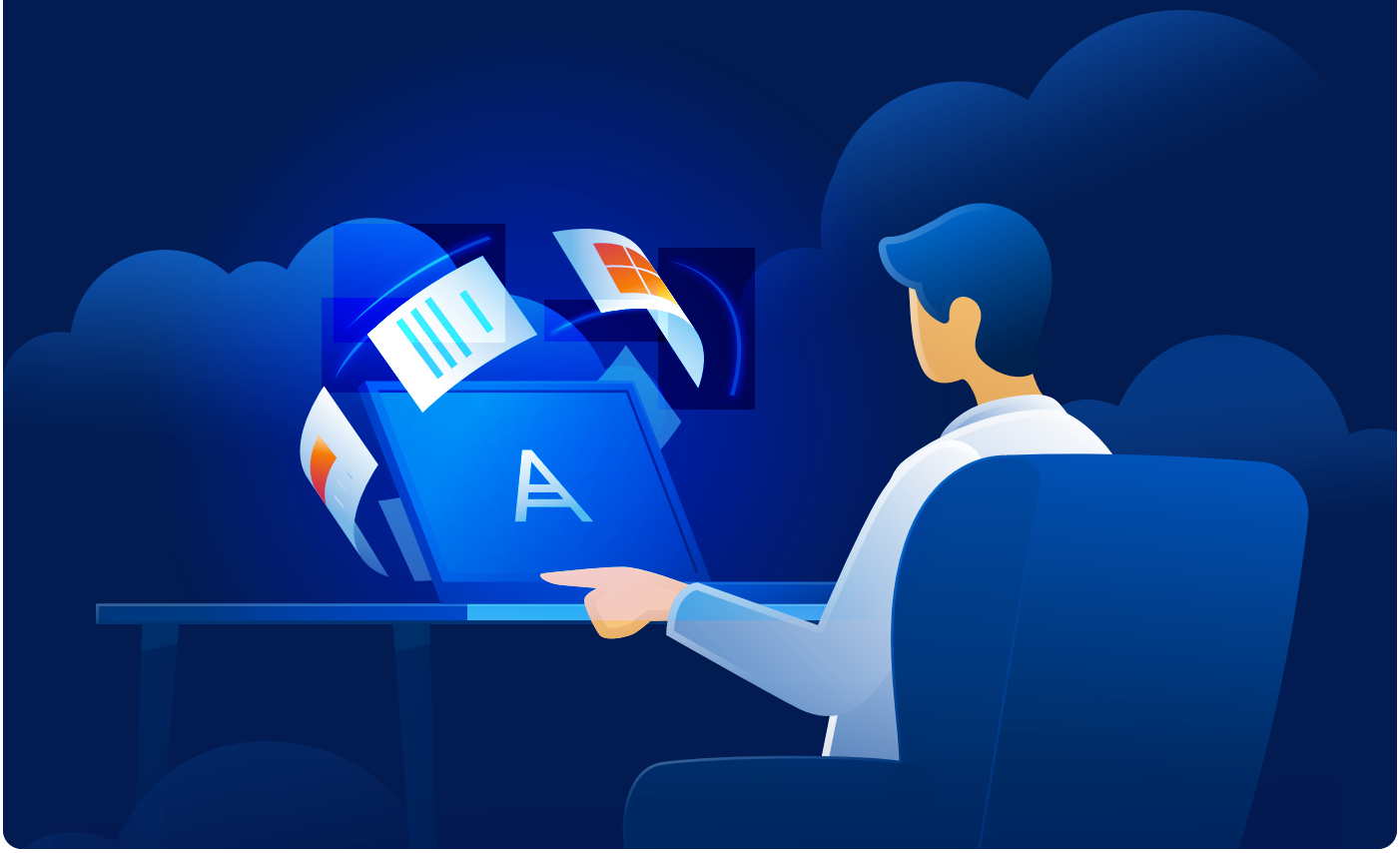
キーポイント

「Acronis データプライバシー調査 2025」では、消費者のサイバーセキュリティに対する意識を探り、日常的にオンラインでどのように自身のデータを保護しているかを調査しました。日本では、いくつかの大きなトレンドが浮かび上がりました。

- **データバックアップの重要性を認識していない：**日本では、14% の消費者がデータバックアップをあまり重要でないか、まったく重要でないと回答しています。世界全体の平均は、7% でした。同様に、日本の回答者のうち 25% のみがバックアップを非常に重要だと考えていると回答し、世界全体では 37% でした。
- **頻度の低いデータバックアップ：**日本の消費者のうち、データを毎日または毎週バックアップしているのは 21% にすぎませんでした。これに対して、世界の消費者のうち、データを毎日または毎週バックアップしているのは 32% でした。

また日本の回答者の約 4 分の 1（27%）が、データのバックアップは思い出したときや重要なアップデートの後にのみ実行していると回答しています。世界的には、この回答を選択した割合はわずか 18% にとどまりました。

- **多くの消費者がデータをバックアップしていない：**日本の消費者の 5 分の 1 がデータをバックアップしていないと回答しており、世界の消費者の 9% に比べて高い数値となっています。
- **二要素認証とファイアウォールの使用率が低い：**日本の消費者は、ウイルス対策ソフトウェアの使用率がわずかに高いだけで、二要素認証（2FA）の使用率は 12% にすぎず、世界平均の 36% には及びませんでした。26% がファイアウォールを使用しており、世界平均より 10%下回っています。



Copyright © 2002-2025 Acronis International GmbH.

日本とグローバルのデータプライバシー意識の比較

データプライバシーデーは、非常に重要ながら、しばしば誤解されやすい問題に対する消費者の意識を測る良い機会を提供します。調査結果によると、消費者はサイバーセキュリティについて懸念を抱いているものの、行動には必ずしも反映されていないようです。

これらの数字は日本における消費者の注目すべき回答を、同じ質問に対するグローバル全体の回答と比較しています。

データをどこにバックアップしていますか？

	日本	グローバル
クラウド（Google ドライブ、iCloud、Dropbox など）	38 %	44 %
外部のデバイス（外付けハードドライブ、USB ドライブなど）	26 %	45 %
ローカルのコンピューターまたは他のデバイス	9 %	12 %
クラウドと外部デバイスの組み合わせ	7 %	7 %
データのバックアップは行っていない	20 %	9%

サイバー脅威から自分自身を保護し、データを安全な状態に保つために、どのようなツールを使用していますか？当てはまるものをすべて選択してください。

	日本	グローバル
ウイルス対策ソフトウェア	55 %	59 %
ファイアウォール（ソフトウェアまたはハードウェア）	26 %	36 %
VPN（仮想プライベートネットワーク）	29 %	24 %
パスワードマネージャー	20 %	28%
二要素認証（2FA）	12 %	32 %
暗号化ツール（ファイル用または通信用）	12%	10 %
広告ブロッカーまたはトラッキング防止ツール	13 %	17 %
バックアップサービス（クラウドまたは外部ストレージ）	8 %	26 %
セキュアブラウジングツール（例：HTTPS またはプライベートブラウジングモードの使用）	9 %	12 %
自分のデータを保護するための特定ツールは使っていない	8 %	9 %

個人データ（スマートフォンやノートパソコン、タブレット、デスクトップ、外付けハードディスクドライブなどに保存されているもの）のバックアップは、あなたにとって、どれくらい重要ですか？

	日本	グローバル
きわめて重要	25 %	37 %
とても重要	34 %	37 %
ある程度重要	27 %	19 %
あまり重要ではない	9 %	5 %
まったく重要でない	5 %	2 %

Copyright © 2002-2025 Acronis International GmbH.

どれくらいの頻度で、重要なデータをバックアップしていますか？

	日本	グローバル
定期に（例：毎日または毎週）	21 %	32 %
ときどき（例：月に 1 回、あるいは年に数回）	24 %	32 %
思い出したとき、あるいは重要なアップデートのあと	27 %	18 %
データバックアップは今後実施する予定	11 %	5 %
現在、データをバックアップしていない	10 %	6 %
データのバックアップとは何か、わからない	8 %	4 %

グローバルの調査結果を読む

今すぐ読む

アクロニスについて

アクロニス は、マネージドサービスプロバイダー（MSP）、中小企業（SMB）、エンタープライズ IT 部門向けに、ネイティブに統合されたサイバーセキュリティ、データ保護、エンドポイント管理を提供するグローバルなサイバープロテクション企業です。アクロニス のソリューションは、非常に効率的で、ダウンタイムを最小限に抑えながら、データの完全性と事業継続性を確保するために、最新のサイバー脅威を特定、防止、検知、対応、修復、復元するように設計されています。アクロニス は、多様で分散した IT 環境のニーズに応える独自の機能を備えた、MSP 向けの市場で最も包括的なセキュリティソリューションを提供します。

2003 年にシンガポールで設立された、スイスの企業であるアクロニスは、全世界に 45 の拠点を有しています。Acronis Cyber Protect は、150 の国で、26 の言語で提供されており、2 万を超えるサービスプロバイダーが、75 万以上の企業を保護するために使用しています。

Acronis

詳細は、www.acronis.com をご覧ください。

Copyright © 2002-2025 Acronis International GmbH. 無断複製禁止。Acronis および Acronis ロゴは、米国および / またはその他の国における Acronis International GmbH の商標です。その他すべての製品名および登録／未登録商標は、識別のみを目的としており、その所有権は各社にあります。事前の予告なく技術的な変更や図の変更が行われる場合があります。品質には万全を期していますが、誤りが含まれている場合があります。2025 年 1 月